

特許出願公告抜萃

特許出願公告抜萃

高粘度液體燃料の燃焼装置 (12年特許公告第2594號公告12-7-5 東京市 安永鑿市) 粘度高き燃料油の噴霧化作用を良好ならしめて其の完全燃焼を爲し得べき高粘度液體燃料の燃焼装置を得むとする目的を以て一定方向に廻轉せらるる噴射筒の内方に之と或る間隔を保ちて反對方向に廻轉せらるる配油筒を同心的に装設して燃料の噴射部を構成し給油をして燃料受部より一旦配油に導き該所に於て多數の通油孔より噴射筒内に噴出すべからしめたることを特徴とする高粘度液體燃料の燃焼装置。

砂鐵を利用して含炭素物質より有用にして而も低沸點の液狀生成物を製造する方法 (12年特許公告第2639號公告12-7-7 川口市 黒川眞武 安西澁 淺岡信壽) 極めて安價なる觸媒を使用して含炭素物質の水素添加作用を促進し該物質より有用にして而も低沸點の炭化水素を優秀なる收量を以て最も經濟的に製造せんとする目的を以て砂鐵を原料とし之を鑛酸に溶解せしめ之をアルカリにて中和して得たる沈澱物又は前記砂鐵の鑛酸處理溶液より加水分解物を除去したる後之をアルカリにて中和して得たる沈澱物を觸媒として使用し高温高壓の下に含炭素物質に水素又は水素含有瓦斯を以て破壞的水素添加を行ふ事の特徴とする含炭素物質より液狀生成物の製造方法。

電氣分銅泥漿處理法 (12年特許公告第2640號公告12-7-7 東京市 日本鑛業株式會社) 泥漿中よりセレンウム分を能率良く回収し且之により後の金銀精鍊を容易ならしめ半製品中に停滯循環する金銀分を著しく減少せしめんとする目的を以て銅電解泥漿を廻轉爐にて攪拌し且強通風を噴射しつつ酸化焙燒し加熱溫度を攝氏600度以上に高め焙燒中は常に泥漿に空氣を吹き付けて鑛層面に發生する酸化硫黃並に酸化セレン瓦斯を吹き拂ひ泥漿の鍍化を防止しつつ銅分を酸化し同時にセレンウム分の酸化揮發を促進してセレンウム分を回収し然る後該焙燒泥漿より金銀を分離回収する事の特徴とする電氣分銅泥漿の處理。

金屬薄層被着方法 (12年特許公告第2641號公告12-7-7 川崎市 東京電氣株式會社) 清淨にして均厚緻密なる金屬層を容易に任意基礎體表面に被着せしめ得べからしめんとする目的を以て基礎體表面に被着せんとする金屬を眞空又は低壓雰圍氣内に於て該基礎體表面に近接して保持し該金屬に直接に之を瞬間的に蒸發せしむるに足る過大なる電流を通過せしめて該基礎體表面に其蒸氣を沈着せしむる事の特徴とする金屬薄層被着方法。

蒸氣放電管等を利用せる粉鑛還元装置 (12年特許公告第2660號公告12-7-7 東京市 菊地秀之 佐々木六郎) 粉鑛還元材等の混合物中に第三電極を設け始動を容易ならしめ且放電不安定時に於て安定なる放電に恢復せしめ有効に粉鑛を還元せしめんとする目的を以て粉鑛還元材等の混合物中に電極を相對せしめ其中間に設けたる第三電極を蒸氣放電管等の豫め電壓を與へたる制御格子に線輪を通じて結線し該線輪と放電管の陽極回路中の線とを相互誘導すべくし且陽極回路と直列に設けたる蓄電器又同調線輪に依て粉鑛混合物中に衝擊の高周波放電を發生せしめ粉鑛を還元せしめ得べくせる蒸氣放電管等を減電流發生に利用する事の特徴とする粉鑛還元装置。

超微粉炭塵燃焼方法 (12年特許公告第2662號公告12-7-9

大阪市 吉田淺次郎) 遊離酸素無き白熾の焰を爐内に通滿せしむる目的を以て超微粉炭塵團塊の給送量と空氣の給送量とを定比せしめ其消費量の變動に應じて其給送を間歇斷續せしむる事に依りて炭灰空氣溜及其配給管内に於ける混合比を所定の定比に保持し以て其燃焼を括約部及戻火防止弁を具ふる漸擴燃焼嘴内に於て完了せしめたる焰を爐内に吹込むべくせる超微粉炭塵燃焼方法。

鉸 (12年特許公告第2664號公告12-7-9 東京市 中村金藏) 鉸を赤熱して打鉸するに際し鉸の受くる衝擊力を鉸の中心を通じて其全長を縦貫せしめて其下端部に到達せしむる事により鉸の短縮膨脹スワリを鉸の最下端に於て最大ならしめ且短縮膨脹を下方より順次上方に向つて起さしめ從て鉸孔の充填は最初に鉸孔の下端に於て起さしめ順次上方を充填し充填が完全に行はれて鉸孔内に於ける鉸身の短縮膨脹が不可能となりたる以後に起る鉸身上部の短縮膨脹を以て鉸頭を構成せんとする目的を以て鉸脚端を使用するスナップに合せて圓くし之を赤熱し該スナップにて打撃して鉸むる様なしたる鉸。

アルミニウム又は其合金の防蝕被膜生成方法 (12年特許公告第2715號公告12-7-12 川崎市 太田千代司) 斯の如き金屬に簡單容易に卓越せる防蝕性を附與し併て好適なる塗裝下地を得んとする目的を以て漂白粉の水溶液中に *Ca, Mg, Al, Mn, Zn* 又は *Fe* の如き其正規磷酸鹽が水に不溶性又は難溶性なる金屬の酸性磷酸鹽を添加し直に該水溶液中に於て *Al* 又は其合金を處理する事の特徴とする *Al* 又は其合金の防蝕被膜生成方法。

金屬マグネシウムの連續電解製造法 (12年特許公告第2749號公告12-7-14 仙臺市 金屬材料研究所長) 簡便なる操作にて熔融鹽浴中の難熔融性又は泥狀物質を含み又は含まざる内容物を流動性狀態に於て處理し以て連續電解作業を容易ならしむる目的を以て諸種の電解槽又は電解法に於て電解槽の底部又は側面に電氣抵抗又は外部加熱容易なる粒狀炭素又は炭素含有物層濾過装置を有する事の特徴とする金屬マグネシウムの連續電解製造法。

鹽槽爐の溫度調節装置 (12年特許公告第2765號公告12-7-14 東京市 株式會社電元社) 簡單にして電氣的能率高き溫度の調節と併せて溫度の安定度高き斯種電氣爐を得んとする目的を以て鹽槽中に電氣抵抗の溫度係數正值なる導電體を裝置して其斷面積を變化し若しくは鹽槽内に於ける主電流の通電方向に對し該導電體の占むる位置を移動すべからしめ以て鹽槽内の鹽化物と導電體との合成發生電熱量を加減すべくしたる鹽槽爐の溫度調節装置。

鑛油石炭タール等を優良なる航空揮發油に變ずる方法 (12年特許公告第2781號公告12-7-16 海軍大臣) 天然に産する輝水鉛鑛より簡單且廉價に得らるる焙燒物を觸媒として鑛油石炭タール其の他液狀炭素物質を經濟的に優良なる航空揮發油に變ずる目的を以て輝水鉛鑛を同量の石英砂と共に 500°乃至550°Cに焙燒して得たる燒成微粉末又は之に金屬酸化物の一種或は二種以上を混和したるものを活性酸性白土に吸着せしめ成型乾燥せるものを觸媒とし之に鑛油石炭タール等を加へて高温高壓の下に水素或は水素含有瓦斯を作成せしむる事の特徴とする鑛油石炭タール等を優良なる航空揮發油に變ずる方法。

爐溫度表示装置 (12年特許公告第2835號公告12-7-19 東京市 株式會社芝浦製作所) 爐の裝填材料全體の溫度が一樣に所要の溫度に達する時を的確に決定表示し熱損を防止し得べくせる作動

簡單確實にして構造簡潔なる爐溫度表示装置を得る目的を以て爐と該爐の熱源と該爐の溫度が特定溫度範圍以下に降下せんとする時前記熱源を附勢し特定溫度範圍以上に上昇せんとする時前記熱源を減勢し交互に加熱期間及冷却期間を生せしむる溫度調整器と順次の冷却期間又は加熱期間又は加熱サイクルの時間隔が相等しき時を決定する装置との組合せより成る爐溫度表示装置。

硬質金屬合金 (12年特許公告第2852號 公告 12-7-21 亞米利加合衆國 フランスチール プロダクツ コンパニー インコーポレイテッド) 炭化タングステンの配合量を在來のものよりも小ならしめて而も所要の高硬度並高強度ある斯種合金を得んとする目的を以て重量にて炭化タングステン 68%乃至79%と炭化タンタル及鐵族金屬中の一種若くは數種より成る耐酸補助資料 21%乃至32%とを含有する事の特徴とする硬質強靱合金。

硫化鑛石の處理法 (12年特許公告第2961號 公告 12-7-28 東京府 平社敬之助) 鑛石の內的性質を一様に變化せしめ爾後の處理を容易に行はしめんとする目的を以て水の存在に於て硫化鑛石を一氣壓以上の壓力と 100°乃至700°Cの溫度のもとに處理し特に所謂化學變化を伴はず單に硫化鑛石自身の內的變化を起さしむるを特徴とする硫化鑛石の處理法。

特 許 抜 萃

| 特 許 番 號 | 名 稱 | 特 許 權 者 | 公 告 抜 萃 掲 載 本 誌 番 號 |
|---------|----------------------|------------|---------------------|
| 120613 | 硫化曹達による砒鉍中の銅 ニツケル分離法 | 小 室 靜 夫 | な し |
| 120623 | 永久磁石 | 住友金屬工業株式會社 | 第21年6號 |

| | | | |
|--------|---------------------------------------|--|---------|
| 120626 | 永久磁石 | 住友金屬工業株式會社 | 第21年6號 |
| 120699 | 鉛或は其他の金屬とアルカリ土類金屬との合金製造方法 | カロイリミテッド | 第23年4號 |
| 120712 | 酸化マグネシウムより金屬マグネシウムを製造する方法 | 日本マグネシウム金屬會社 | 第23年4號 |
| 120754 | アルミニウム合金 | 日本火工株式會社 | な し |
| 120787 | 微粒炭塵燃料製造法 | 吉 田 淺 次 郎 | な し |
| 120788 | 微粒炭塵燃料製造法 | 吉 田 淺 次 郎 | な し |
| 120790 | 微粒炭塵燃料製造法 | 吉 田 淺 次 郎 | な し |
| 120820 | 煉炭燒成窯 | 廣 瀨 信 太 郎 | な し |
| 120859 | 蒼鉛 アンチモニー 砒素等の共存せる合金粉末又は地金より蒼鉛の回收及精製法 | 三菱鑛業株式會社 | 第23年4號 |
| 120951 | 鑛滓に依る金屬處理方法 | ソシエテ デレク トロシミイ デレク トロメタルユジ イ エ デサシエリ エレクトリク デ ユジイヌ | 第23年2號 |
| 120980 | チタン鋼製造法 | ワルトヘル マセ シウス | 第23年4號 |
| 121040 | 燒入れを要せずして必要硬度を得且變形なき工具鋼 | 上 島 大 助 | 第20年11號 |
| 121041 | 低温乾餾装置 | 金 信 平 外 一 名 | な し |
| 121064 | ヴァナヂン鑛又はモリブデン鑛の處理方法 | 化學研究所長 | 第23年5號 |
| 121067 | 低周波堅型誘導電氣爐 | 沖 本 希 三 | な し |